

埼玉県 公立高校の入試制度

【2022年度版】

選抜概要

○埼玉県の公立高校入試（全日制）は、主に一般募集1回の機会を選抜されます。

	出願期間	志願変更	試験日	合格発表
一般募集	2/14(月)・15(火)	2/17(木)・18(金)	学力検査 2/24(木) (面接・実技は2/25)	3/4(金)

○埼玉県内の高校は県立・市立とも全県を通学区としているので、学区による出願の制限はありません。県内の希望する高校に出願できます。

○出願は1校1学科等ですが、次の場合は第2志望を認める学校もあります。

- ・同一課程に2学科以上ある高校
- ・普通科でコースを設置する高校
- ・いずみ高校

※選抜対象者が募集人員より少ない場合、第2志望に準ずる志望を認めることがある

○一般募集で不登校の生徒などを対象とした特別な選抜があります。

また、帰国生徒特別選抜、外国人特別選抜を実施しています。

検査内容

○一般募集の検査内容について確認しましょう。

・学力検査・・・全員が国語・社会・数学・理科・英語を受験

一部の学校では、数学・英語で学校選択問題を実施します。

学校選択問題を実施するのは次の22校です。

浦和、浦和第一女子、浦和西、大宮、春日部、川口北、川越、川越女子、川越南、熊谷、熊谷女子、熊谷西、越ヶ谷、越谷北、所沢、所沢北、不動岡、和光国際、蕨、市立浦和、市立大宮北、川口市立

・実技検査・・・次の学科等で実施

芸術系学科（美術科、音楽科、書道科、映像芸術科、舞台芸術科）

体育科、体育コース、スポーツコース、スポーツサイエンス科

伊奈学園総合高校のスポーツ科学系、芸術系

※外国語科・外国語コース等は、英語による問答を内容とする実技検査を実施することが可能

・面接

実技を実施しない学校は、面接を実施することができます。

実施については各高校が定めます。

選抜方法

●選抜方法は各高校・学科ごとに公表されます。

学力検査，調査書，その他の資料（実技検査または面接を実施した場合）により選抜されます。

① 学力検査 各100点（各50分）

傾斜配点を
実施できる
科・コース等

外国語科・外国語コース 英語 2倍
理数科等 数学・理科 各2倍
国際文化科・人文学科等 国語・社会・英語 各2倍

② 調査書点 a～cの合計点

a 学習の記録の得点
b 特別活動等の記録の得点
c その他の項目の得点

a中1・中2・中3の比率，b cの得点を
それぞれの高校が決定します。
 $a \geq b + c$ の範囲

③ その他の資料

実技検査や面接を実施した場合は各高校がそれぞれ配点を設定します。

●第1次選抜 ⇒ 第2次選抜 ⇒ 第3次選抜 の順に選考します。

【第1次選抜】募集人員の60～80%の範囲

②③の得点を各校が決めた配点に換算し，それらと①の合計の高い順に合格とします。学力検査と調査書点の比率は6：4～4：6の範囲になります。

【第2次選考】1次選考を除く募集人員の60～100%の範囲

②③の得点を各校が決めた配点に換算し，それらと①の合計の高い順に合格とします。学力検査と調査書点の比率は7：3～3：7の範囲です。

【第3次選考】1・2次選考を除く募集人員の残り（実施しなくてもよい）

第1または第2次選抜の合計点いずれかを参考にします。
選抜資料として，②b・②c・③を加えることができます。

【例】 A高校の場合	①学力検査	500点		
	②調査書点	a 180点 (1年：2年：3年 = 1：1：2)	b 120点	c 20点
			a～c計 320点	
	③その他の資料	なし		
第1次選抜	75%	①500点	②336点	合計836点
第2次選抜	22%	①500点	②218点	合計718点
第3次選抜	3%	第1次選抜の一定順位以上の者を対象に，特別活動等の記録の得点で選抜する		